

千歳市のまちづくり団体意向調査
報告書

平成21年2月

千 歳 市

もくじ

1	調査のあらまし	1
(1)	調査の目的.....	1
(2)	調査の方法.....	1
(3)	回収状況	1
(4)	集計・表記方法.....	1
2	回答者の属性	2
(1)	団体区分	2
(2)	活動頻度	2
3	設問別調査結果	3
(1)	参加・協力が可能な活動分野	3
(2)	活動で困っていること、悩んでいること	4
(3)	行政に期待する支援.....	5
(4)	今後のまちづくりへの意見・提案	6
4	調査票	13

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

「(仮称)千歳市第6期総合計画(平成23年度~)」の策定にあたり、千歳市で活動している地域団体、各種団体の活動状況や課題をはじめ、協働のまちづくりの可能性、行政に求める支援のあり方、まちづくりに対する提案などを把握し、計画策定に反映するために実施しました。

(2) 調査の方法

実施地域：千歳市全域

対象：千歳市内にある地域団体(町内会)、各種団体

調査方法：代表者宛の書面で、郵送にて配布・回収

実施時期：平成20年9月~10月

(3) 回収状況

配布数：313票

回収数：170票

回収率：54.3%

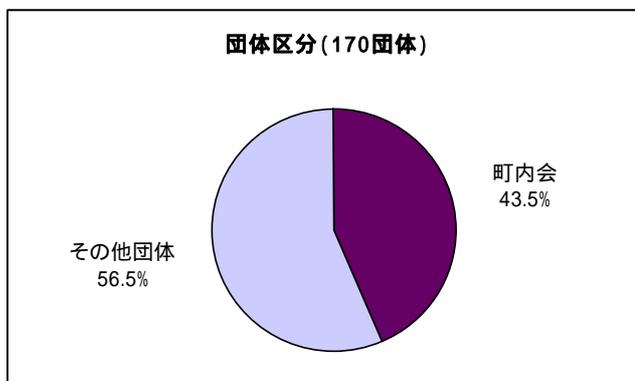
(4) 集計・表記方法

- ・比較や順位づけは回答率(一部では加重平均値)で行っており、“高い”“低い”は回答率の高低を意味しています。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選び回答する設問では、構成比の和が100.0%にならないことがあります。

2 回答者の属性

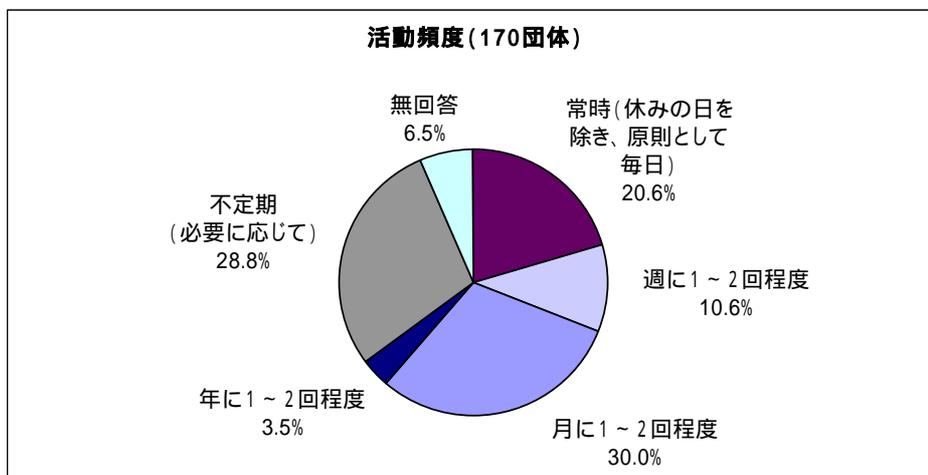
(1) 団体区分

団体の区分としては、町内会が 43.5% (74 団体)、その他団体が 56.5% (96 団体) となりました。



(2) 活動頻度

活動の頻度については、「月に 1 ~ 2 回程度」が 30.0% と最も多く、「不定期 (必要に応じて)」(28.8%) が続きます。また、「常時 (休みの日を除き原則として毎日)」も約 2 割を占めます。



3 設問別調査結果

(1) 参加・協力が可能な活動分野

【問1】千歳市では、市民と行政が連携を深め、役割を分担しながらともにまちづくりを進める「市民協働によるまちづくり」に取り組んでいます。
市民協働によるまちづくりを進めるにあたり、貴団体で参加・協力が可能な活動分野はどれですか。現在参加・協力されているものも含めて、あてはまるものすべてに印をつけてください。

「資源リサイクル」が54.3%と最も高く、「美化清掃」(52.6%)、「児童・青少年の健全育成」
「地域イベント」(48.0%)と続いています。



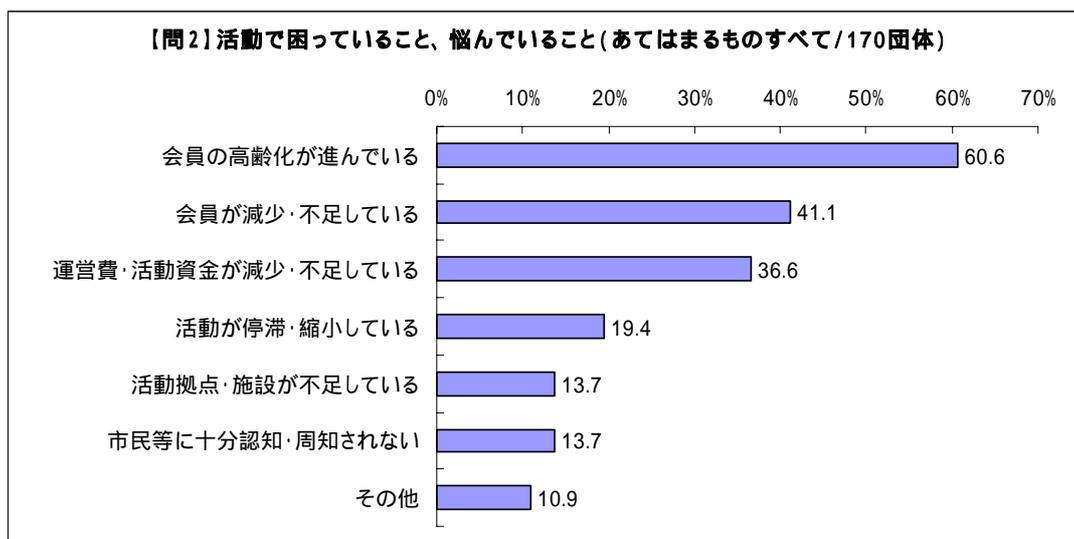
【「その他」の記述内容】

- ・福祉サービス等の研修、人材育成
- ・電波科学の普及
- ・点字に関する協力可能
- ・チャリティ募金をして寄付をする
- ・千歳っ子見守り隊を結成、登下校時に参加
- ・地産地消の取り組み
- ・サケのふるさと館の管理運営
- ・健康まつり
- ・北進小中学生との交流活動
- ・子どもと一緒に参加できるもの、楽しい行事、研修になりそうなことなどの企画
- ・市で合宿する実業団の練習場等の確保
- ・市住やまと団地の生活管理
- ・子ども神輿、敬老会、世代交流事業
- ・広報、ポスターの掲示は全面的に協力できる

(2) 活動で困っていること、悩んでいること

【問2】貴団体の活動に関連して、現在困っていることや悩んでいることについて、次の中からあてはまるものすべてに 印をつけてください。

「会員の高齢化が進んでいる」が60.6%と最も高く、「会員が減少・不足している」(41.1%)、「運営費・活動資金が減少・不足している」(36.6%)が続きます。



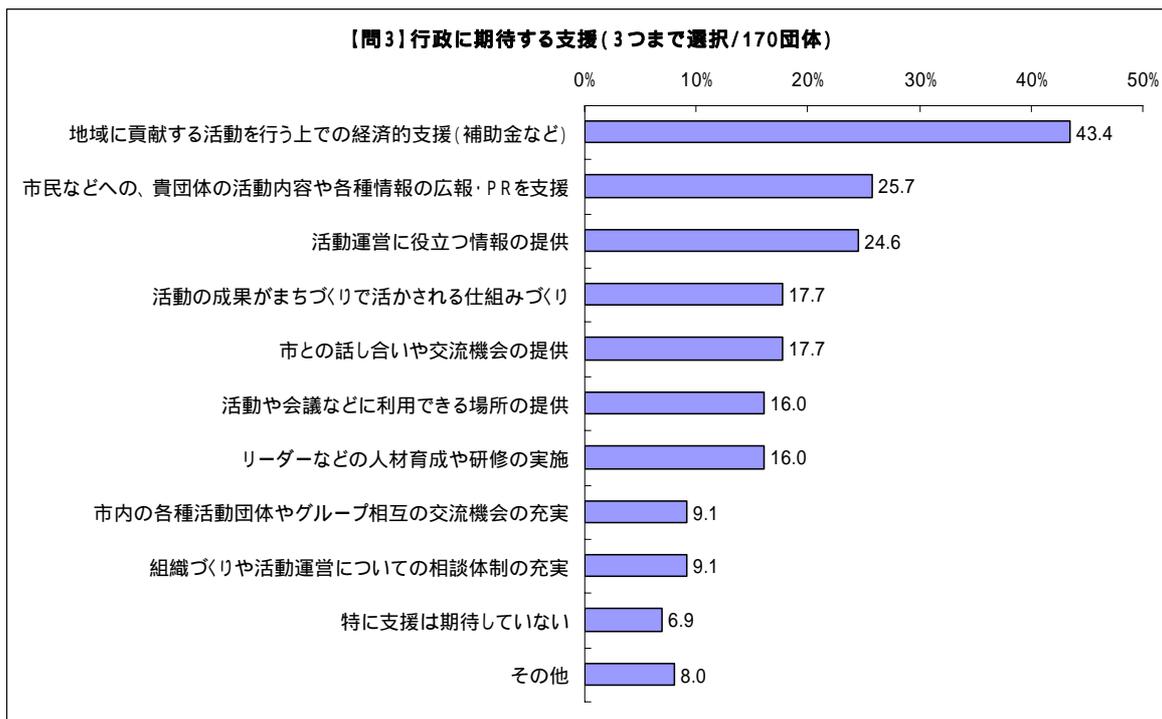
【「その他」の記述内容】 数字は複数回答数

- ・ 役員の担い手不足、行事参加者数が少ない(4)
- ・ 会館の老朽化と手狭(3)
- ・ 役員交代の停滞
- ・ 指導者の高齢化が進んでいる
- ・ 会員の高齢化
- ・ 共働きのため若い世代の参加が少ない
- ・ 電波科学の関心が薄れている
- ・ 町内会をリードする人材が不足。ボランティア精神の高揚が必要。
- ・ 町内会の会員(世帯)のほとんどが共働き、単身者等で、まとまった活動ができない。
- ・ 地域の要望を市に提出しても解決されていないこと
- ・ サケのふるさと館入館者数の減少
- ・ 事務局機能の民間移管
- ・ アパート入居者が町内会に未加入、ごみの排出に非協力
- ・ アパート、マンションなど入居者の未加入者の増加
- ・ 「ひと・もの・かね」望めばきりがない

(3) 行政に期待する支援

【問3】貴団体の活動を充実する上で、行政（千歳市）にどのような支援を期待しますか。
次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「地域に貢献する活動を行う上での経済的支援（補助金など）」が43.4%と最も高く、「市民などへの、貴団体の活動内容や各種情報の広報・PRを支援」（25.7%）、「活動運営に役立つ情報の提供」（24.6%）が続きます。「特に支援は期待していない」は6.9%です。



【「その他」の記述内容】 数字は複数回答数

- ・市職員の町内会活動への積極的な参加（2）
- ・施設の整備
- ・地域の活動拠点となる花園コミセンの早期建設を
- ・会館の老朽化で会館の新築を要請している
- ・蘭越生活館施設の利用提供（保管棚のスペース、コピー機の利用。有料で可）
- ・町内会館の補修費の援助（屋根、外壁塗装）
- ・施設使用料の見直し（負担の軽減）
- ・快適な地域とするインフラ整備
- ・たとえ支援を受ける場合でも、制約を加えないでいただきたい
- ・公的なバスの利用拡大
- ・学校、特に小学校の体育の充実を期待する
- ・市指定のがけ地災害の対応の具体化が緊急

(4) 今後のまちづくりへの意見・提案

【問4】貴団体の立場から、千歳市の今後のまちづくりへのご意見・ご提案がありましたら、お聞かせください。(記載される方の個人的なお考えでも結構です。)

1. 医療・福祉

意見内容
市民(特に高齢者)が安心してかけられる医療体制(救急医療を含める各科医療)を確立してほしい。安心して出産ができる産婦人科の充実を早急に進めてほしい。
高齢者に対する福祉、医療の充実
介護予防活動を常時行うことができるように、施設(設備)と人材を確保できることが理想である
夫のいない母子の家庭は、子どもが3人もいると、仕事を2~3つも持って夜寝る時間を削って働いており、母親の健康が心配である。適切な支援・施策を望む。
夫のいない母子の家庭は生活基盤が弱く、パート等の低賃金のため、児童扶養手当でつないでいるのが現状である。
市民に「障がい」を知ってもらい、理解されるような広報活動をしてほしい。そして障がいを持つ子供たちが地域で生活していけるような福祉体制を整備してほしい。
団体行事等における福祉パスの使用回数を多くしてもらいたい。
障がい者・児が、ガイドヘルパーを使わなくても安心して参加できるレクなどの機会がほしい。
若い世代の母親達が気軽に子ども達を預けて料理教室に参加できるような機会を多くつくってあげたい。参加希望は多いが、保育が難しい。
高齢者が年々増えてくるに従い、病を持つ者も増えてくる。PPK(ピンピンコロリ)で終わることができるよう、健康的な日々が送れるような予防面に重点をおいた施策を望む。
「PPK(ピンピンコロリ)」とは、「病気に苦しむことなく、元気に長生きし、病まずにコロリと死のう」という意味の標語。

2. コミュニティ活動

意見内容
自衛隊官舎の多い町内会では、町内会館の建替え資金を蓄えるのが大変である。自衛隊官舎があることにより子供が多くありがたいが、官舎住民からの寄付は少ない。
高齢化と男性会員の減少により、町内会役員等も女性を中心に組織していかなければならない状況である。市で行う行事等も、地域の状況に合わせて計画してほしい。
まちづくりのうえで、町内会活動が果たす役割は大きいと思うが、町内会は任意団体であり、加入を強制できないため、会員の高齢化、役員の担い手の減少により、活動が停滞している。アパート居住の現役世代に対する加入促進の方策を検討してほしい。
役員が不足している。現役員が長期化しているが、交代する人がいない。
町内会役員はほとんどが高齢者で、若い人がなかなか参加しれくれず、活動が停滞している。
町内会加入数が減少しており、未加入者に町内会活動の役割(街灯、ゴミステーション、町内会館など)が認識されていない。
会としての活動縮小は、会員全てが不規則勤務であり、できる範囲で活動をおこなっているにすぎないので、現状でもやむをえないと考えている。まちづくりへの要望は特でない。
会員戸数が少なく、葬儀等以外はほとんど活動していない。今後、他の町内会に吸収されることも考えられる。
町内会館が手狭で、会員数に対してホールが狭く、一同に集まれる場所がない。
町内会に居住する会員も、様々な趣味の会やサークル活動に参加しており、結構なことと思う。しかし、町内会活動にはあまり見向きしてくれず、会員数の不足や高齢化の課題がある。何とか続けていきたいが、良い対策がない。
町内会活動にも様々なものがあり、その数は市の組織数に相当するほどかと思う。しかし、その全てに対応するほど私達の町内会には力がなく、必然的に何種類かの分野に偏ってしまうが、それは仕方のないことと思う。
千歳市および周辺市町村のイベントが最近盛りだくさん見られ、町内の行事に対する関心度が希薄してきているので、その盛り上げに苦慮している。
年度における町内の事業計画は、予定どおり取り組んでいるが、その内容の一部はマンネリ化してきているので、活動運営に役立つ情報の提供がほしい。

意見内容
町内会加入率が低下していることは、どこの町内会とも共通の悩みである。これに対し、行政から自衛隊をはじめ市内企業等に対して要請を行って欲しい。特に市の職員は積極的に町内会活動に参画、協力するよう指示願いたい。
マンション、アパート新築時、建主に町内会入会をご指導願いたい。
現在の会館は、市営住宅の住民のための集会館として建てられたものであり、50人も入れれば身動きとれず、地域での親睦交流事業等の実施に支障をきたしている。会館の増築を考えて頂きたい。
マンション住まいの人々は地域活動に協力的な人は少ない。この人々をどのように指導したらよいか。
最近入会したくない世帯（特にマンション世帯）が増加しており、種々の問題・苦勞がある。対策として、マンションの経営者を強力に指導もらう以外にないと思う。
会員の高齢化、運営費・活動資金の減少、不足が活動のネックになっている。

3. 防災・防犯

意見内容
各町内会に自主防災会を設置するにあたり、災害発生時に必要な最低限の装備、施設の貸与をお願いしたい。
自主防災資器材の公正な配分（世帯数に応じて配分）
防災無線の性能向上
地震等の災害時における避難の訓練や情報の伝達などは、地域連携して行うことも大切と思う。（特に冬期間積雪状態での災害時の対処など）
防災組織の育成・充実を行政の力で推進してほしい。未だ立ち上げの気配がない町内会が多い。最大の要因として要援護者リストと個人情報保護法との運用の齟齬があると考えており、審議会の英断を望む。
各町内会には指定された一時避難場所（公園など）があるが、地域住民周知が徹底されていないのが実情なので、一時避難場所表示やポールの設置（のぼり旗取り付け可）をしてほしい。ポールは、恒久的な掲揚塔として行政負担とし、のぼり旗は各町内会の特色を出すため町内会負担としてはどうか。
防災無線の改善
防犯、防災、衛生面、交通安全等のための周辺整備（特に街灯、樹木の剪定、除草など）

4. 騒音対策

意見内容
「航空機騒音対策」について、「市街地西側旋回規制」の取り組みが薄弱と感じる。対策がおろそかにならないよう、特段の配慮を求めたい。
防音工事（告示後）住宅の早期実現

5. ごみ・リサイクル

意見内容
ごみステーションの整備（ごみボックスの設置など）は市全体として統一して行ってほしい。
町内に数あるごみステーションのうち、一部のごみステーションの使用状況が悪く、カラスや猫等の対策として箱型の金網にしたいと考えているが、会として予算を措置できない。
クリーンシティ千歳をめざすなら、まず、転入者に対し、ごみの出し方について徹底的に指導すること。次に、広報ちとせや市民カレンダーを通じて十分に周知すること。第三に、ごみ監視員を活用すること。
町内会での資源回収事業について、現状で活動が継続できるよう願う。
近年の廃棄物（資源）は多種多様、再資源への施術的対応も日進月歩であり、住民の環境面に対する思いやリサイクルに対する意識も随分と変わってきている。廃棄物（再資源化）処理は、その対応如何によっては、より効率的・効果的な事業が遂行でき、市民サービスの向上や財政負担の軽減につなげていくことが可能になると考える。新たな発想でこれらを検討・実践していくためのプロジェクトチームを設置してもらいたい。

6. 環境美化

意見内容
高速道路を境として、千歳川端の草刈り、清掃の実施回数等に差があり、疑問に思う。
景勝地以外の市内の商店街、一般住宅街、郊外と続く市内全域において緑や花の植栽が必要と思う。誰が見ても（子ども含む）きれいな道、場所と思える場所増やしていくことができればいいと思う。コスト的に無理であれば、団体（会社など含む）に協力を得て分担し、美化清掃を徹底するべきと考える。
千歳市内の川岸に大木をたくさん植えるなどして、千歳を森のまちにする。

7. スポーツ

意見内容
近年、夏期で数多くの団体（陸上長距離を中心に）が千歳で合宿している。青葉の陸上競技場だけでは、彼らの要求を満足させることはできず、公園内の周回道路等を利用して練習しているが、正確な距離表示がないため、選手・監督・コーチ達の不満要因のひとつとなっている。市で管理している市内（市街地が望ましい）に、正確に測定した数か所のコースを設定し提示できれば、さらに練習効果が上がるし、数多くの団体を受け入れることができると思う。
千歳は素晴らしいスポーツ施設があるにもかかわらず、有効利用されていないように思う。積極的に低料金で全国大会、合宿など誘致すべき。

8. 青少年

意見内容
青少年の健全育成施策（防犯含む）特に中高生に対する健全育成施策（社会ルールの尊重、常識ある行動）
青少年への参加呼びかけ、体験の実施をこれまで以上に行う。小中高校などへの文化活動の支援方法を考えていきたい。

9. 国際交流

意見内容
これからのまちづくりの中で国際交流の必要性や位置づけを明確にしていく必要がある。

10. 道路

意見内容
新星、蘭越地域の道道16号から国道36号および泉沢、向陽台方面に通じる、市内環状線を整備してほしい。

11. 除雪

意見内容
冬期間の除雪体制をもう少し強化をしてもらいたい。
除雪対策（生活道路の排雪）
高齢化のため除雪が困難な家庭が漸増している。排雪溝（流水による）の設置を希望する。

12. 公園

意見内容
児童公園の拡充、用具の更新
グリーンベルトお祭り広場の屋外ステージ等の整備をしてほしい。グリーンベルトはまちの中心街にある最高の場所であり今日まで有効活用できないのは残念。

13. 公共交通

意見内容
交通アクセスを整備することが重要。(地下鉄をキーアクセスとして、向陽台-市街地間に地下鉄を整備)
ピーバスの蘭越まで延長乗り入れ
まちの中心部まで行くのに駅で乗り換えねばならない。以前のように市役所方面に直通の路線がほしい。
公共施設への交通手段の充実

14. 土地利用

意見内容
騒音地区の防衛省が買い上げを行っている用地(土地)の利用で、植林・植栽のため、地域の戸数が減少しており、市が借り受けて積極的に市民の利用に活用することを強く要望する。(例えば、子ども遊び場、町内会の各施設などの設置)
なるべく用地の買い上げは民間において行うことを望む。防衛省の買い上げは中止すべき。

15. 商業・商店街

意見内容
中心市街地の活性化対策として、空き地を活用した高齢者住宅を建設。昔から千歳市の飲食店は有名であり、健康的なイメージづくりをして市民への割引など、足を運ぶ施策を検討すると良い。
イトーヨーカドーが撤退することで大変不安にいられている。是非とも撤退後は速やかに生鮮食料品や日常生活必需品の量販店が入居し、日常生活に支障のないようにしてほしい。
中心市街が衰退しているので、空き地を活用した高齢者住宅の建設
中心街の空洞化対策の一つとして、空き店舗を利用し、小規模の多目的に使用できる箇所をつくる。
会として、平成14年度の市のモデル事業に応募した事業を基本に、毎年グレードアップして継続実施している。再度このような事業計画をしてみてもどうか。
基本的には商店街が市に支援をもらって改善するものではないと考える。千歳市のフレーム(まちづくり)構想を明らかにしてもらいたい。
商業振興のため法人格を持って団体を形成しているが、疲弊化、会員の減少による運営費の縮小が顕著になっている。このため、今後、組合組織を法人格から任意団体に格を下げ、法人市民税などの負担を軽減していくことも選択肢の一つであり、その場合においても、現状の支援体制を継続して実施してもらいたい。

16. 観光

意見内容
インディアン水車は、観光バスが来てもサーモン橋の上のみで見学して別の観光に行くような状況である。外国でも見学施設にいったが、(サケのふるさと館のような)高い入場料はとっていない。何かミスマッチである。旭山動物園の成功事例などを検討してもらいたい。
支笏湖地区は、国立公園に指定され、来年は60年余を迎える。観光客を対象としてまちが成り立つ。そのため観光客誘致、集客は重要な課題である。メインである国立公園のアピール、自然環境保護、公園利用の方策も積極的に進めることも必要である。

17. 行政

意見内容
自治会に千歳市や関係機関等から文書類が増大しているが、自治会本来の事務事業の執行方針に基づかない短絡的なものが少なくなく、対応処置に苦慮している。
各種奉仕活動(児童見守り隊、交通安全の立会など)、ボランティアの努力を確認し、評価する施策がみられない。(要請するだけの現状)

意見内容
市などから町内会（自治会）に送付される依頼、回覧文書等が非常に多く、処理に困惑している。文書回覧配達員を町内会に設置してもらいたい（有料で）。
あまり組織が多くありすぎると思う
各コミュニティ単位ブロックごとに市と地域住民との意見交換を行う場を設けていただきたい。どのような要領で行うかは市とコミ協会長で調整し、運営はコミ協会長に任せてみてはどうか。
組織の合理化。市、町連合、コミセン等から相互の連携をとり、指導の一元化を望む。
千歳市子ども会育成連合会、町連合青少年部、コミセン青少年部の組織の合理化
市有の施設の維持管理を民間団体に委託して2年目になると思うが、一度検証する必要がある。（稼働率、サービス、市民の評価など）
各種の文化団体がいろいろな活動をしているが、例えば、展示会とか発表会の際に、行政の責任ある立場の方の来場が少ない。市の文化団体の活動状況をみて確認して欲しい。
市民サービスを過剰に意識しすぎると感じる。地域・職場・福祉などを理由として偏ったものではなく、市民全体が納得できるサービスを提供してもらいたい。できること、できないことを明言すべきである。
環境問題と当組合の仕事は直接結びつくので、連携を密にして環境問題に取り組んでいきたいので、市役所で調整をとられる窓口を設けてほしい。

18. 助成・支援

意見内容
町内会館の修理や整備に補助金や支援策を考えてほしい。
千歳っ子見守り隊活動の冬の防寒対策（専用帽子、防寒コート、靴などの貸与）の支援をしてほしい。
サークル活動を企画しようとしても、コミセン、市の施設の使用料が高く容易に結成できない。軌道に乗るまでの一定の期間や人員数が揃うまでの期間について助成をしてほしい。
町内会館の屋根の葺き替え費用の補助
市からの助成金は大変貴重な資金である。
男女共同参画推進を目的として設立し活動しているが、会費のみで運営しており、補助金はもらったことはない。他の団体のように補助金等の支援を検討してほしい。
継続的な支援をお願いする。

19. 公共施設等

意見内容
市民活動交流センター（ミナクル）の使い方は市民の集いにとっても良いことであるが、市民への周知が不十分と思う。たくさん催しものをして、利用できるように普及すべきである。
スポーツセンターなど体育施設を市外の人が利用する場合、入館料などが少し高いので、市外との交流が難しいところがある。
地域で事業等を継続して実施する場合に、市の公共施設の利活用が出来ればありがたい。

20. 市民協働

意見内容
「市民協働」にコラボレーションの理念が欠如している。
市民協働の名分のもとに、行政あるいはそれに類似する組織に町内会・自治会等を繰り込まないでほしい。
市民協働のまちづくりに異論はないが、行政のやるべきことを市民に転嫁することのないよう常に検証すること。
市民のまちづくり参画は、主体性のある創造的活動であることがその本質である。市役所の下請けではない。どんなに経済的な問題を抱えていても本質をゆがめては市民主体の活動として市民一人一人の自覚ある活動につながらない。市民協働はそういう意味で前進とは言い難い支援体制だと考える。市民活動をプロ化してしまえば、サービスの提供者でしかなく、指定管理者と何ら差はない。
当団体は、8つの民謡会を擁しており、唄、三味線、尺八、太鼓等で文化活動を行っている。すでに「千歳学出前講座」に登録し、民謡普及を行っている会もあり、民謡を通じて「民謡の話」「歌唱実技」など、市民協働で小中学校の音楽（民謡）指導に寄与できればと考えている。

意見内容
千歳市在住で各種活動をされている方に個人マップ（個人情報公表してよい人達）の作成をしてもらい、活動内容、各種情報の広報、PRに取り組む。自宅を活動の場としている方または教室を開催したい方など（無料、有料記入）のPRをすることで地域交流の場にもなると考える。

21. まちづくり

意見内容
千歳は全道一若いといわれるが、地域によってはかなり高齢化が進んでいるので、地域の状況に合わせたメリハリの利いた施策が必要である。（地域の除雪、公共交通機関の確保、バス路線の乗り継ぎ券など。）
安全、安心して生活できる環境にしてほしい。
地味でも着実に実行できる計画であってほしい。
高齢化が進む中で、医療、介護などの何日でも、どこでも、安心してかつ安く利用できる充実した福祉のまちになってほしい。
何か外に向かって宣言できるものがほしい。例えば、写真のまち東川町、パークゴルフのまち幕別町のように。千歳は比較的若い世代が多いので、スポーツのまち千歳市、またはテニスのまち千歳市とか、老若男女が健康であるためにもスポーツ宣言が良いのではないか。
千歳市の人口増加の割に周辺の開発が早すぎると思う。市の中心街また各旧町内は寂れ人口減、食料など生活品物販の個人商店は皆無に等しい。このような状態では、そのうち人が住まない町になり、市が機能しなくなる。高齢居住が多い旧住宅地などに若者が同居できる体制があってこそ安心して住めるまちづくりができると思う。
農家人口の減少に歯止めがかからない。新規就農希望者の研修施設や支援体制がさらに必要。
若者の活動の応援や町の若者との交流（出会いの場）を支援すべき。
高齢になっても、いきいきと過ごすことのできる居場所づくりをめざしたい。
犯罪をした人や非行のある少年の更生保護は、国のみの仕事ではなく、地域住民にとっても身近に考えるべき課題である。
産業（農業、企業など）、特に生活に密着した電力会社、エネルギー会社を含み、連携や働きかける機会を持てるようにすることが必要。市民と産業と企業が共通認識を持つことが大事。
子ども達が明るく元気で高齢者が安心して過ごせるまちになると良い。
日本古来の伝統と文化の継承・維持が重要であり、若い人（市民）の参加を促す努力が必要と考えている。
大きなイベントや催し物も大切だが、まずは市民一人一人や各団体が自分の周辺で出来ることから考え行動することにより、まち全体が活性化すると思う。
空港、鉄道の駅、高速道路など交通網が整備され、国立公園も設置されているが、市内に観光客、旅行者が訪れることが少ない。
住宅地を郊外に広げるだけでなく、中心街の整備も含め、まちづくりを進めてもらいたい。
各種の活動に対する適正な評価をより深め、一人でも多くの人に参加しやすい条件づくりが必要。
高齢者の方を家に閉じこめないで、社会に参加できる態勢をつくる。知識や能力、経験がたくさんあるこれからの超高齢化社会において、幼児から大人まで共存共栄する道を探るべき。
北海道の空の玄関と港の一体化（苫小牧との合併）

22. 総合計画

意見内容
新長期計画は良く知られていない。市、社協、町連合など、関係機関・団体の地位と役割を明示してほしい。
いろいろなアンケートがあるが、市が採用した結果を聞かない。
平成23年度からの長期総合計画にあたっては、千歳市の計画のスケール（物差し）、例えば人口の増減、年齢別構成比、市街化地域の編入の大きさ等の基礎的な予想を住民に知らせ、そのために実施していかなければならないことを知らせていく必要がある。

23. その他

意見内容
現在、会として、まちづくりに参加・協力できる状態になっていないが、努力中である。
会として、市内にある保健福祉関係（支援センター等を含む）の資源をもっと有効に利用できるよう勉強していきたい。
千歳市には多くの企業や工場があるので、市民が参加できる見学やイベントなどの一覧やお知らせがあれば活用してみたい。
建國記念行事の灯を消さないよう努力する。
NPO法人だから良く、財団法人だから悪い。近年このような風潮が多い。時代の背景、いろいろな法律のもとに設立が認められたものであり、公平な立場でのぞみたい。
組合員は恵庭、長沼、札幌等からも加入しており、特に千歳市のみに対する考えはない。
市内にも多種の団体があるが、ベースに商業主義的な発想が抜けきれず、信頼関係を築きにくいところがある。
ミナクールなど先進的な施策も進んでいるので、営利を目的としない活動が実現できれば良いと考える。

4 調査票

～千歳市のまちづくりにご協力下さい～

千歳市のまちづくり団体意向調査

千歳市では、平成 23 年度を始期とする新しいまちづくりの指針「(仮称)千歳市第 6 期総合計画」の策定を進めるにあたり、千歳市で活動されているみなさまのご意見を伺っております。お手順をおかけしますが、調査にご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

貴団体について、お聞かせください。

団体名	
記載される方のお名前と役職	ご氏名 [役職 :]
活動内容について、簡単に お書きください	・活動している人数(会員数): 人
	・活動の頻度(あてはまるものの番号に、印をつけてください) 1. 常時(休みの日を除き、原則として毎日) 3. 月に 1 ~ 2 回程度 2. 週に 1 ~ 2 回程度 4. 年に 1 ~ 2 回程度 5. 不定期(必要に応じて)
	・主な活動内容:
	・主な活動場所:

【問 1】千歳市では、市民と行政が連携を深め、役割を分担しながらともにまちづくりを進める「市民協働によるまちづくり」に取り組んでいます。市民協働によるまちづくりを進めるにあたり、貴団体で参加・協力が可能な活動分野はどれですか。現在参加・協力されているものも含めて、あてはまるものすべてに印をつけてください。

1. 緑や花の植栽	2. 美化清掃	3. 自然保護
4. 資源リサイクル	5. 省エネルギー	6. 福祉ボランティア
7. 健康づくり	8. 歴史文化の継承	9. 芸術芸能の普及
10. スポーツ振興	11. 児童・青少年の健全育成	12. 子育て支援
13. 男女共同参画	14. 地域防災	15. 防犯・交通安全
16. 地域イベント	17. 観光振興	18. 国際交流
19. まちのにぎわいづくり(特産品開発支援・まちの魅力づくりなど)		
20. その他()		

裏面もよろしく
お願いします。



